

北海道新幹線札幌開業に向けての

要 望 書

令和 5 年 11 月

北海道新幹線建設促進関係自治体連絡協議会

北海道新幹線札幌開業に向けての要望

北海道新幹線は、札幌から鹿児島までの主要都市間が新幹線で結ばれ、我が国の高速交通網における基軸が形成されることによって、首都圏はもとより、東北、北関東圏との新たな文化・経済交流を促進するとともに、道内経済を活性化するものであります。

また、札幌までの早期開業は、より一層魅力と活力に満ちあふれた北海道を築き上げ、北日本ひいては日本全体の経済発展にも大きく寄与するものであり、北海道民の念願でもあります。

北海道新幹線は、平成28年3月26日の新青森―新函館北斗間の開業以来、北海道と東北や北関東、首都圏との交流において重要な役割を果たしております。

我々、北海道新幹線沿線に位置する自治体は、平成18年5月に「北海道新幹線建設促進関係自治体連絡協議会」を設立し、全線の早期開業に向けて活動を行ってきたところであります。現在、2030年度末の開業に向けてまちづくりを進めており、これからも関係機関と連携し、一日も早い全線開業に向け、積極的に取り組んでまいる所存であります。

つきましては、次の事項について特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 一．北海道新幹線全線の早期完成
- 一．貸付料など幅広い観点からの更なる建設財源の確保や財源措置の拡充による地方負担の軽減
- 一．全ダイヤの高速走行実現に向けた青函共用走行問題の早期の抜本的解決
- 一．まちづくりや防災等に配慮した構造物（軌道、駅舎等）の設計及び建設
- 一．トンネル等走行時における移動通信環境の基盤整備

令和5年11月

北海道新幹線建設促進関係自治体連絡協議会

会 長 札幌市長 秋元 克広

副会長 北斗市長 池田 達雄

小樽市長 迫 俊哉

倶知安町長 文字 一志

長万部町長 木幡 正志

八雲町長 岩村 克詔

七飯町長 杉原 太

函館市長 大泉 潤

木古内町長 鈴木 慎也